

科目名

現代の国語

普通科必修

1年次・2単位

目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指します。

位置づけ

高校国語の基礎的科目として、次年度以降の必修科目「論理国語」の土台となる科目です。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力は、他者との関わりの中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりする様々な活動につながります。

■使用する教材

- ・教科書『改訂版 精選 現代の国語』（第一学習社）
- ・参考書『入試頻出漢字+現代文重要語彙 TOP2500』

■学習する単元とおおよその時期

1. 対比の構造について理解する
『「間」の感覚』・「水の東西」・「人工知能に未来を託せますか？」
2. 具体と抽象の関係について理解する
「日本語は世界をこのように捉える」・「何も知らない私を知ること」・「現代の『世論操作』」
3. 事実と意見の関係を理解する
「私作りとプライバシー」・「本当の自分幻想」・「鏡という現象」
4. 主張と根拠・主張と反論の関係を理解する
「デザインの本質」・「動機の話彙論」・「生と死が創るもの」 ・「フェアな競争」

■授業の流れ、予習・復習を含めた学習方法

- ①予習：指定教材の語句の意味調べを行うこと
- ②復習：新出漢字の読み書きの練習をすること
- ③授業：一つ一つの言葉を大切に読み、本文を根拠として答えを出すことを意識しながら授業を受けること

■観点別評価について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	A 授業で扱ったものだけでなく、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	・論理的に考えたことや深く共感したり豊かに想像したりしたことを適切に説明できる。 ・他者との関わりの中で自分の思いや考えを適切に伝え合うことができる。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりしたことを適切に表現できる。	・言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。 ・生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させようとしている。 ・日本の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
	B 授業で扱った国語の知識や技能を身に付けている。	・論理的に考えたことや共感したり想像したりしたことを説明できる。 ・他者との関わりの中で自分の思いや考えを伝えることができる。 ・自分の思いや考えを広げたり深めたりしたことを表現できる。	・言葉がもつ価値を理解しようとしている。 ・読書に親しもうとしている。 ・言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
	C 上記が達成できていない	上記が達成できていない	上記が達成できていない
評価の場面	単元テスト、小テスト、課題の提出内容	単元テスト 課題の提出内容	授業中の参加状況 課題の提出内容

■領域ごとの授業時間数について

単元名	1 自己と他者	2 認識を深める	3 言葉と社会	4 共に生きる	5 世界を広げる	
話すこと・聞くこと	4	4	4	4	4	20 時間
書くこと	6	6	6	6	6	30 時間
読むこと	4	4	4	4	4	20 時間